



電気料金値上げと電力市場システムの問題点

竹村 英明 (新電力「グリーンピープルズパワー」代表取締役)

コロナ禍とウクライナ侵攻で世界の物流が停滞し、あらゆるものの値段が上がっている。その代表的なものが天然ガスをはじめとする化石燃料価格である。その化石燃料価格の高騰が、電気料金も上昇させている。巷の解説はそうだが、実は本当の原因が他にある。

電力自由化後、日本には700を超える電力会社が誕生し、これらを新電力と呼ぶ。新電力も東電や関電などの大手電力も基本メニューでは電気料金を上げていない。「燃料費調整額」という化石燃料価格連動型の「調整料金」を値上げすることで、消費者からの料金徴収を増やしている。これが「値上げ」と報道されている。

電気料金値上げの背景には電気の市場価格高騰がある。JEPX（日本卸電力取引所）のスポット市場価格のことを市場価格と呼ぶ。市場なので電気の売入札と買入札があり、その交点が市場価格になる。売入札の大部分は大手電力で、買入札の大部分は新電力である。つまり大手電力が新電力に電気を分けてあげる市場だ。

2021年10月から市場価格は1日平均価格で倍以上になり、それが7ヵ月続いている。市場価格は新電力にとって仕入価格で、これに託送料金と需給調整などの経費を加え30円/kWh程度で販売している（東電エリアの一般家庭の場合）。仕入価格は10円/kWh程度が目安だが、これが20円/kWhになっている。送電線の使用量である託送料金が10円/kWhなので、仕入れ価格と託送料金だけで販売価格に達し、どの新電力でも需給調整や経費部分は赤字になる。だから倒産、廃業、身売り、営業停止などが相次いでいる。

今回の市場価格上昇のきっかけは、大手電力が市場に売入札する電気の価格をJKM（日本の天然ガススポット価格）にして良いと政府が認めたことだ。昨

年の10月のことで、ちょうど市場価格上昇が始まった時期と符合する。スポット価格は時価で、最も高い価格だ。大手電力は、長期契約の天然ガス取引もあり、より安価な天然ガスを持っているが、市場に売入札される価格は高く、長期契約価格で平準化されているとは思えない。新電力の仕入れ価格を釣り上げ、自分たちは新電力並みの販売価格で電気を売ること、実は大きな利鞘を得ているのではないかと疑われる。

以上が電気の世界で起こっていることだ。しかし・・・皆さんは思われるかもしれない。化石燃料ではない、再エネ電気を供給している新電力まで、電気料金が上がるのはなぜだ。実は日本の再エネは大部分がFIT（固定価格買取）制度によって作られていて、仕入価格は市場価格連動制とされている（一部例外あり）。FIT制度によって作られた再エネのFIT電気は、まず送配電事業者が「FIT価格」で買取、そのFIT再エネ発電所と契約した新電力に「特定卸供給」という形で電気を引き渡す。その引渡し価格が「市場価格」と決められている。

結果的にFIT電気を供給している新電力は、100%自社電源であっても、吊り上げられた市場価格で電気を調達しているのと同じことになる。この場合、電気の仕入価格を市場価格で請求するのはJEPXではなく送配電事業者である。仮にFIT価格が20円/kWhで、市場価格が40円/kWhだとすると、送配電会社は20円/kWh儲かることになる。2021年1月の市場価格高騰時には、この儲けが800億

円近くに達した。新電力側は少なくとも利鞘分は返してほしいと要求したが、政府は再エネ賦課金の原資とし、国民負担を減らせば良いと新電力側の要求を拒否した。

電力自由化において、電気の市場は不可欠なものと言える。現在の市場は天然ガスの他、石炭や石油、地域によって原子力も含まれてダーティだが、市場の電気が100%再エネになるなら、自社電源を持たず市場で買って消費者に届けるだけの新電力もあって良い。しかし現在の市場はダーティだけでなく、新電力を苦しめるものとなっている。圧倒的に多くの発電所を保有する大手電力が、新電力に電気をおすそ分けするだけの場になっているからだ。そもそも大手電力が市場への売入札を減らせば、市場価格は上がる。新電力が邪魔だと思えば売入札を減らせば良いのだ。

とても不公平な仕組みの中で、新電力は「自由競争」を強いられている。ではこれを正す道も新電力が生き残る道もないのかと言うとそうでもない。「脱FIT・脱市場」という道である。再エネ新電力が、市場に影響されない電気を昼夜供給できれば、市場価格の値上がりとは無縁となり、安定した価格で電気を販売できるだろう。まさに「自由競争」でも勝利して、大手電力を駆逐することも不可能ではない。

気候危機が叫ばれ、一刻も早くカーボンニュートラルを実現しなければならない今、反原発新聞の読者がどんな電気を選ぶのか、まさに問われていると言えるだろう。

